

## 国際人間科学部

### 【どんな学部か】

現代を生きる私たちが国境を越えて協力し、取り組まなければならない課題「グローバルイシュー」の共有と解決に向けて、リーダーシップを発揮できる人材を輩出することを目的として国際人間科学部は設立されました。グローバルイシューと向き合い、様々な人々とコミュニケーションをとることを通じて、そのような人材の育成を目指しています。

また、国際人間科学部の学生は、海外での研修とフィールド学修を経験することができます。学生は3つの学修コースから、自らの興味関心に応じてコースを選択し、参加するプログラムを決定します。ここで得られる学びは、卒業研究につながる重要なものであると同時に、卒業後にグローバル社会で活躍するための礎となります。

この学修プログラムは「**グローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)**」と呼ばれ、**グローバル教育に力を入れる神戸大学を象徴しています**。卒業するまでには、このプログラム一つを必ず経験しなければなりません。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響でオンラインでのプログラムがほとんどでしたが、今年度からは実際に渡航できるプログラムが増えており、今後も増加する見込みです。

### 【各学科の詳細説明】

#### **グローバル文化学科**…グローバル社会を学び、幅広く活躍する人材を育成する

→グローバル共生社会を実現するために、多文化状況や文化摩擦などの現代的課題を解決する人材の育成を目指しています。「地域文化系プログラム」、「異文化コミュニケーション系プログラム」、「現代文化システム系プログラム」、「言語情報コミュニケーション系プログラム」の4つの教育研究分野で構成されており、国際関係論や言語学、IT技術にいたる多様な学びが可能です。自分の興味や進路に応じた柔軟な授業の選択ができることから、**将来の目標が詳しく決まっていな**  
**い人にもおすすめの学科**であるといわれています。

### 発達コミュニティ学科…人間や社会を学び、協働型社会を実現する人材を育成する

→人間の多様な発達とその発達を支えるコミュニティを実現するために、より良く生きることのできるコミュニティを形成する能力を身に付けた人材の育成を目指しています。この学科は「社会エンパワメントプログラム」、「心の探求プログラム」、「アクティブライフプログラム」、「ミュージックコミュニケーションプログラム」、「アートコミュニケーションプログラム」の5つに細分化しています。多様な視点から人間の発達を捉えるとともに、**国内外でのフィールド学修や現場実践が豊富**です。

### 環境共生学科…幅広い視点から考える、文理融合型人材を育成する

→人間と環境の調和に根差す持続可能なグローバル共生社会を実現するために、様々な問題を解決に導く能力を身に付けた人材の育成を目指しています。「環境自然科学プログラム」、「環境数理科学プログラム」、「生活共生科学プログラム」、「社会共生科学プログラム」の4つから成り、プログラムをまたいで授業をとることができるので、**文理双方の視点から諸課題を捉える**ことが可能です。各機関や団体が主催する環境活動と関わることもあり、実践的な課題解決能力を養うことができます。

### 子ども教育学科…初等教育を中心に、教育に携わる人材を育成する

→次世代育成を通じたグローバル共生社会を実現するために、子どもと学校が抱える課題を認識し解決する能力を身に付けた人材の育成を目指しています。神戸大学は、**日本で最も長い歴史を持つ乳幼児教育研究学・保育者養成の拠点**であり、環太平洋乳幼児教育学会という国際学会の日本支部が設置されています。このため、子ども教育学科では「学校教育学コース」と「乳幼児教育学コース」の2コースそれぞれで最先端の初等教育を学ぶことが可能です。

## 【4年間の流れ】

1年生	学部や各学科の基礎的な授業を履修します。1年間の学びを通して、2年生から分化するプログラムやコースを検討し、発展的な学修に備えましょう。また、全学共通授業科目として、教養科目や外国語科目、健康・スポーツ科学を履修します。第2外国語はドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語から選択します。特に、 <b>外国語科目は再履修にならないようにきちんと単位を修得</b> しましょう。
-----	---

	さらに、GSPに関する科目では、各先生のオムニバス形式でグローバルイシューを学ぶ授業があります。また、GSPオリエンテーションでは、GSPオフィスの方からお話を頂き、 <b>海外での学びの設計を立てていきます。</b>
2年生	各学科に用意されている2~5個のプログラム・コースに沿って、より専門的な原理や方法論を学んでいきます。教養科目は2年生までに必要単位を修得している学生が多いです。 また、長期休暇を利用して、GSPの海外での研修やフィールド学修を行う学生もいます。
3年生	2年生から引き続き、各学科や選択したプログラム・コースの専門科目を学修していきます。これに加えて、3年生からはゼミ(研究室)に配属されます。ゼミでは、先生と学生が少人数で研究活動やディスカッションを行います。担当教員のもとで、学生は卒業研究のテーマ設定や見通しを立てていきます。 GSPで「留学型GSコース」を選択した学生は、3年生から中長期の留学をすることが多いです。また、GSPの3コースいずれを選択した学生も、3年生までには海外での研修やフィールド学修を開始しています。
4年生	4年間の学修の集大成である卒業研究を完成します。また、卒業研究と並行して、就職活動や独立の準備、大学院進学に向けた勉強など、それぞれの進路を実現させるために精力的に活動します。自分が納得した人生を歩むことができるように、1、2年生のうちから自己分析を行い、自分の価値観や軸を意識しておくことが良いと思います。

### 【学部の雰囲気】 (男女比→4:6)

#### ・グローバル文化学科

各学生がそれぞれに目標を持っているため、**互いに切磋琢磨しながら学ぶことができます。**先生の研究分野も多岐に渡るため、学生は自らの興味関心に応じて様々な授業を選択し、自由な研究テーマを設定することが可能です。また、女子学生の割合が高いことから、キラキラしている学科だといわれています。

#### ・発達コミュニティ学科

スポーツ科学や音楽、美術、身体表現による総合型選抜が充実していることが特徴です。5つのプログラムから構成されている学科であるため、**学生は国際関係や心理学、芸術などの多様な学問に関心があり、様々な分野を専攻しています。**また、発達コミュニティ学科も、比較的女子学生が多く在籍しています。

### ・環境共生学科

文理融合型の学科であるため、それぞれの学生が、多様な価値観を持っています。文理系統にかかわらず授業を履修することが可能であるのに加え、文転も理転もできます。男子学生と女子学生の比率もほぼ同等であり、穏やかで優しい学生が多いといわれています。

### ・子ども教育学科

50人という少人数の学科であるため、高校のクラスのように皆と親しくなることができます。優しい学生が多く、たくさんの素晴らしい先輩や先生がいらっしゃいます。学生同士は、「教育に携わりたい」という共通の目標を持っているため、互いに将来への思いを共有しモチベーションを高めあっています。

学部・学科の名称が長く、多くの神大生が学科名を省略して呼んでいます。ここではその呼び方を紹介します。

国際人間科学部→国人

グローバル文化学科→グロ文

発達コミュニティ学科→発コミュ

環境共生学科→環境

子ども教育学科→子ども

## 【授業紹介】

### ・協働型リーダーシップ論(全学科1~4年)

各界で活躍している方を講師としてお招きし、お話を頂きます。実際に社会で生きていくために求められている能力、講師の方々の物事を見る視点の違いなどを知ることができます。学部での学びや他者との協働について考えを深めることで、学生が「協働型グローバル人材」としての能力を身に付けていくことが図られています。

### ・環大西洋文化論(グローバル文化学科1~4年)

「コーヒー」をキーワードに、環大西洋地域のコーヒー生産国と消費国のつながりを考えていきます。南北アメリカを中心に学ぶことで環大西洋地域の歴史的相互関係を理解し、その関係性を分析していきます。

・発達心理学(発達コミュニティ学科、子ども教育学科1~4年)

乳幼児期を中心に人間の心の働きの発達について基礎的な知識を学び、生涯発達の様相を理解します。教科書を中心に先人たちの研究成果を学び、多様な実験や豊富な観察データを通して、**発達のあり方を深く理解することが可能です。**

・環境経済学(環境共生学科 2~4年)

環境問題が発生する仕組みについて経済学的に分析し、そこから導かれる環境政策の基礎理論を学びます。経済学の基礎を学ぶとともに、**環境と経済の関わりについても学ぶことができます。**

・教職論(子ども教育学科1~4年)

人間の心の働きの発達をさまざまな観点から学習します。発達の各時期の発達課題等を理解し、幼児期から児童期を含む生涯発達の様相と支援についての理解を深めることができます。考えさせられることが多く、**価値観や視野を広げられる授業です。**

【時間割の例】

○グローバル文化学科(1年生1Q)

	月	火	水	木	金
1	AEL (英語)				GSP演習
2			AEC (英語)	健康・スポーツ科学 実習基礎	初年次 セミナー
3	文化人類学	第2外国語	地域文化概論	第2外国語	
4	アジア 共同体論	教養科目	グローバルイシュー概論	協働型リーダーシップ論	
5		国際コミュニケーション 演習 A	言語情報コミュニケーション概論	現代社会文化論	

○グローバル文化学科(2年生 2Q)

	月	火	水	木	金
1	教養科目			教養科目	
2			地域文化基礎演習Ⅱ	メディア社会文化論	フィールドワーク方法論
3		シアトリカル・アート論	現代文化システム論基礎演習Ⅱ		
4		近現代文化言語説論	日本メディア文化論		Academic Communication
5					

○発達コミュニティ学科(1年生 1Q)

	月	火	水	木	金
1	AEL (英語)				GSP 演習
2	教養科目		AEC (英語)		初年次 セミナー
3	文化人類学	第2外国語	健康・スポーツ科学 実習基礎	第2外国語	発達 コミュニティ 概論
4	アジア共同体論		グローバルイシュー概論	協働型リーダーシップ論	

○環境共生学科(1年生 2Q)

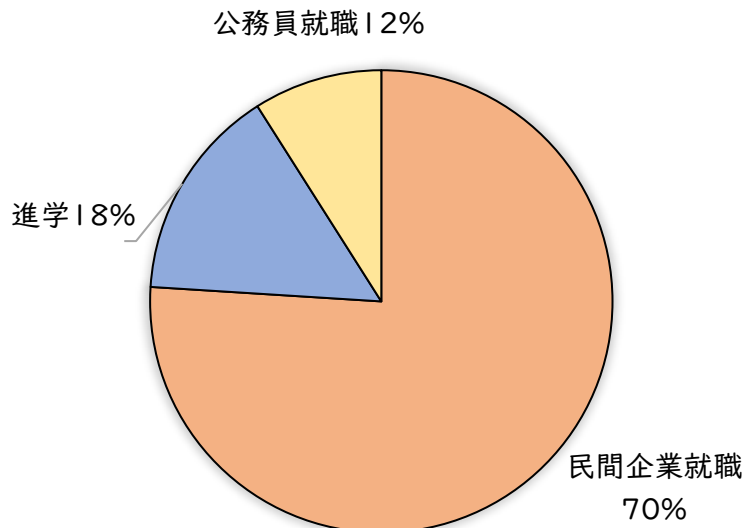
	月	火	水	木	金
1	AEL (英語)	教養科目		専門 教養科目	
2		教養科目	AEC (英語)	教養科目	グローバル イシュー演習
3		第2外国語	健康・スポー ツ科学 実習基礎	第2外国語	環境共生学 概論
4	教養科目	専門 教養科目			
5	教養科目		ESD 基礎		

○子ども教育学科(1年生 1Q)

	月	火	水	木	金
1	AEC (英語)				GSP 演習
2	教養科目		AEL (英語)	健康・スポー ツ科学 実習基礎	初年次セミ ナー
3		第2外国語		第2外国語	子ども教育 学概論
4		教職論	グローバルイ シュー概論	協働型リー ダーシップ論	

## 【大学卒業後の進路】

### 国際文化学部・発達科学部進路先(2020年度)



## 【取得可能な資格・免許】

### <グローバル文化学科>

資格→学芸員

免許→中学校教諭一種、高等学校教諭一種(どちらも英語)

### <発達コミュニティ学科>

資格→学芸員、社会教育主事、社会福祉主事任用資格、公認心理師受験資格

免許→中学校教諭一種、高等学校教諭一種(どちらも保健体育、音楽、美術)

### <環境共生学科>

資格→学芸員、社会教育主事、社会福祉主事任用資格

免許→中学校教諭一種、高等学校教諭一種(どちらも理科、数学、家庭、社会)

### <子ども教育学科>

資格→学芸員、社会教育主事、社会福祉主事任用資格

免許→幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、特別支援学校教諭一種



## 【受験方法】

- ・前期一般受験
- ・後期一般受験
- ・学校推薦型入試(グローバル文化学科)
- ・総合型選抜(発達コミュニティ学科・環境共生学科)
- ・「志」特別選抜(環境共生学科)\*

\*「志」特別選抜とは

→大学入学共通テストを課さない総合型選抜(旧 AO 入試)です。

詳しくは HP またはパンフレットでご確認ください。

## 【併願校】

### <グローバル文化学科>

私立→同志社大学(グローバル地域文化学部**一般**、文学部**共**)、立命館大学(国際関係学部**一般/共**、文学部**共**)、関西学院大学(国際学部**一般**、法学部**一般**)、関西大学(外国語学部**一般**)、近畿大学(国際学部**共**) etc.

後期→神戸大学(国際人間科学部グローバル文化学科)、大阪公立大学(文学部) etc.

### <発達コミュニティ学科>

私立→関西大学(文学部**共**、社会学部**一般/共**)、関西学院大学(文学部**一般**)、立命館大学(スポーツ健康科学部**一般**) etc.

後期→神戸大学(国際人間科学部発達コミュニティ学科) etc.

### <環境共生学科>

私立→同志社大学(情報文化学部**共**)、立命館大学(**共**)、近畿大学(薬学部**推薦**) etc.

後期→千葉大学(園芸学部)、大阪公立大学(現代システム科学域知能情報システム学類)、奈良女子大学理学部(生活環境学部) etc.

### <子ども教育学科>

私立→京都女子大学(発達教育学部**共**)、関西大学(文学部**一般/共**)、関西学院大学(教育学部**一般/共**)、教育学部**共**) etc.

後期→広島大学(教育学部) etc.

\***一般**=一般入試、**推薦**=推薦入試、**共**=共通テスト利用入試(R3年度~)

## 【アピールポイント】

- ・国際人間科学部の専門科目は約970科目に及び、他学部比べて圧倒的に充実している。(子ども教育学科1年生Mさん)
- ・全員が海外での研修やフィールド学修を行うGSPに加え、海外に関心のある学生へのサポートが充実している。(環境共生学科1年生Kさん)
- ・六甲山の中腹に位置しているため、夜には神戸市内の夜景を一望できる。(環境共生学科1年生Tさん)
- ・鶴甲第1キャンパスと鶴甲第2キャンパスの移動は体力勝負!この20分に及ぶキャンパス移動から、国際人間科学部は統合前の発達科学部にちなんで、「足腰発達学部」と呼ばれることも…。(環境共生学科1年生Tさん)

## 【その他】

Q1. 教員免許は全員がとるの？

A1. 子ども教育学科の学生は初等教育に関するいずれかの免許を取得しますが、他の学科に所属する学生は教員免許をあまり取得しません。教員免許を取得する場合には、卒業に関わる単位に加え、教員免許に関わる単位を取得する必要があるため、履修する授業が増えます。このため、学生便覧などを参考に、綿密な履修計画を立てることが求められます。

Q2. 大学院に進学する学生はどのくらいいるの？

A2. 大学院に進学する学生は全体の約4分の1です。多くの学生は学部を卒業したのち、民間企業や公的機関に就職します。

Q3. GSP って何をするの？

A3. GSP は「研修型コース」「実践型コース」「留学型コース」の3つのコースから構成されています。実践型コースは短期留学、研修型コースは留学と国内フィールド学修、留学型コースは6か月～1年間の交換留学のプログラムを主に展開しています。それぞれのプログラムには人数制限がありますが、プログラムの量や幅が豊富なため、十分な準備をしておけば自分の希望のプログラムを選択することができるでしょう。